

令和7年7月18日



学校だより7月号

- 教育目標
- 1 深く考え、進んで学習する
 - 2 責任を重んじ、規律正しく行動する
 - 3 心身を鍛え、情操豊かにする

校長：中山 幸子

港区西麻布四丁目14番8号

電話：03-3409-7687

港区立 高陵中学校 Koryo Junior High School

琴線に触れるには

校長 中山 幸子

先日、学校だより(6月号)を読んだ地域の方からお電話をいただき、大変うれしく励みにもなりました。

科学技術が発展し私たちの生活も急速に変化して、複雑多様化する価値観をもちながら社会生活を送っている中で、広く多くの皆さんに届く内容とを考えて学校だよりを発行しています。

そのため、今回のようなご連絡は冥利に尽きることと感じていますし、誰かの琴線に触れる紙面にもなると気持ちも引き締めて今後も臨みたいと思っています。ありがとうございました。

さて、今月は「琴線に触れる」という言葉をテーマにいわゆる「刺さる言葉」をご紹介したいと思います。(敬称略)

『〇〇だけが神様が平等に与えて下さった。これをいかに有効に使うかはその人の才能であって、うまく利用した人がこの世の成功者なんだ。』(本田宗一郎)

『〇〇の浪費ほど大きな害はない』(ミケランジェロ)
『〇〇の使い方は、そのままいのちの使い方になる』(渡辺 和子)

〇〇に入る文字は、お分かりのように「時間」です。上の2つは自戒や、なるほどなと思えるものですが、3番目は身に染みるものとして感じました。私たちはおぎゃあと生まれてきて、いつか来る終わりの日に向かいながら生きています。これを見て、以前、SNSで見かけたあるお寺の掲示板を思い出しました。

『人が自分のために使ってくれた時間は、その人の命であることを忘れてはいけない。』自分を助けたり、苦楽をともにしてくれたりとプラスに働いてくれる人達よりも、注意や違う意見、提案をしてくれる場面が思い浮かびました。本来なら、避けたいこれらをあえてしてくれるその気持ちだけでなく、その時間がその人のいのちでもあると、自分はわかっていたか……。時折、思い返すようにしています。

学校は、あとわずかで夏季休業期間となります。1学期中に生徒たちの琴線に触れたものは何か、私たち教職員もその瞬間だけではなく、学びの連続性を意識して中長期的に俯瞰して携わっていきたいと思います。

お子さんが新たに知った、得た知識、できるようになった技能、数値評価には表れないまでも人としての内面の成長などについて、ぜひ、ご家庭でも話し合う時間をつくってください。

余談ですが、給食の検食で「煮びたしに歯ごたえがなかった」と感想を話した管理職がいらっしゃいました。琴線ではありませんが、なぜ、煮びたしに歯ごたえ？と前任校で盛り上がったことをオチにして、皆様には笑い飛ばしていただき、元気に夏をお過ごしいただければ幸いです。

9月にお会いするのを楽しみにしております。2学期もよろしくお願いいたします。

【小学生体験授業】

7月15日(火)に、筭小学校、本村小学校の6年生と高陵中学校2年生との交流授業である、『小学生体験授業』を実施しました。実施教科は英語、数学、国語、音楽でした。授業が終了して帰るとき、筭小、本村小の6年生から、「楽しかった」という声がたくさん聞こえてきました。



【7月・8月の予定】

7月22日(火) 夏季休業日始

8月 1日(金) } 閉校期間
～8月22日(金)

8月 1日(金) } 2年夏季学園
～8月 3日(日)

8月 6日(水) } 海外派遣
～8月15日(金)

※閉校期間中は日直不在となります。

8月29日(金) 夏季休業終

9月 1日(月) 始業式

